



パラマウントベッドホールディングス株式会社

2025 年 3 月期 決算説明会

2025 年 5 月 22 日

イベント概要

[企業名]	パラマウントベッドホールディングス株式会社		
[企業 ID]	7817		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2025 年 3 月期 決算説明会		
[決算期]	2025 年度 通期		
[日程]	2025 年 5 月 22 日		
[ページ数]	34		
[時間]	16:00 – 16:56 (合計：56 分、登壇：36 分、質疑応答：20 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	2 名		
	代表取締役社長	木村 友彦（以下、木村）	
	執行役員 経営管理部長 兼 IR 部長	南口 雄一（以下、南口）	

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



登壇

司会：お時間になりましたので、これよりパラマウントベッドホールディングス株式会社、2025年3月期の決算説明会を開催いたします。本日は、ご多忙の中ご参加いただき、誠にありがとうございます。

本日の登壇者をご紹介します。代表取締役社長の木村友彦でございます。執行役員、経営管理部長兼 IR 部長の南口雄一でございます。

それでは、これより 2025 年 3 月期決算について、代表取締役社長の木村友彦よりご報告させていただきます。社長、よろしくお願いいたします。

決算概要



増収減益決算、概ね修正計画通り着地

(単位：百万円)	2024.3 実績	修正予算 ※3	2025.3 実績	修正予算比	前期比
売上高	106,016	108,000	108,583	+0.5%	+2.4%
営業利益 (営業利益率)	13,818 (13.0%)	13,000 (12.0%)	12,977 (12.0%)	-0.2%	-6.1%
経常利益 (経常利益率)	15,920 (15.0%)	12,500 (11.6%)	12,846 (11.8%)	+2.8%	-19.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (純利益率)	10,622 (10.0%)	8,500 (7.9%)	9,083 (8.4%)	+6.9%	-14.5%
リカーリング取扱高 ※1	34,056	38,200	38,480	+0.7%	+13.0%
EBITDA ※2	23,583	24,031	24,116	+0.4%	+2.3%

※1 リカーリングビジネスで獲得するキャッシュの合計額。※2 営業利益と減価償却費（のれん含む）の合計で算出。※3 2024年10月30日発表。

WELL-BEING for all beings

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

5

木村：パラマウントベッドホールディングスの木村でございます。本日はご多用のところ、弊社の決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

本日の主な内容は、2025 年 3 月期の決算概要と、今期 2026 年 3 月期の見通しに加え、5 月 14 日に発表しました、2027 年 3 月期を最終年度とする中期経営計画のアップデートと、配当方針の見直しなどについてご説明いたします。

それでは、まず 2025 年 3 月期の決算概要をご説明いたします。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



売上高につきましては、前期比 2.4%増 1,085 億 8,300 万円となりました。昨年 10 月に業績予想の修正をしております、その修正予算比では 0.5%のプラスとなっています。

上半期までは前期比マイナスで推移していましたが、下半期の 6 ヶ月では過去最高を更新し、通期としても 9 期連続での過去最高更新となりました。

利益につきましては、営業利益が前期比 6.1%減、おおむね修正予算どおりの 129 億 7,700 万円となりました。

経常利益は、前期に計上した為替差益の反動や、今期は為替差損が発生したことなどにより、前期比 19.3%減、修正予算比ではプラス 2.8%の 128 億 4,600 万円。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比 14.5%減、修正予算比プラス 6.9%の 90 億 8,300 万円となりました。

経営指標として掲げているリカーリング取扱高と EBITDA を併せて記載しています。

リカーリング取扱高は、期初計画どおり進捗し、前期比 13%増、予算比プラス 0.7%の 384 億 8,000 万円と、引き続き堅調に推移しています。

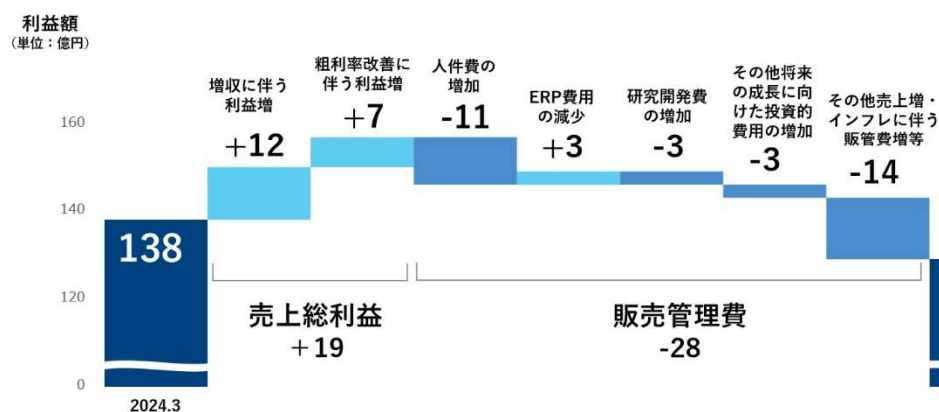
EBITDA は、前期比 2.3%増、修正予算比プラス 0.4%の 241 億 1,600 万円となりました。

営業減益となりましたが、キャッシュ創出力としての指標である EBITDA は、5 期連続で過去最高を更新いたしました。

営業利益増減要因

PARAMOUNT BED HOLDINGS

収益向上策に注力し粗利率改善も、製品販売量減・インフレ等により減益



© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

6

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

次に、営業利益の増減要因についてご説明いたします。

売上総利益につきましては、ベッド販売台数が伸び悩んだものの、リカーリングビジネスの拡大や各種価格の適正化活動により、前年比で 19 億円増加いたしました。

販管費につきましては、新基幹業務システムの導入に伴う費用が一服したものの、人件費の増加や研究開発費などを中心として、将来の成長に向けた投資的費用に加え、インフレに伴う費用増があったことから、合計の費用増は約 28 億円となり、その結果、営業利益は約 9 億円の減益となりました。

財務の状況



純資産12億68百万円増

(単位：百万円)	2024.3	2025.3	増減額	前期比
流動資産	95,496	94,531	-965	-1.0%
固定資産	84,523	88,495	+3,972	+4.7%
資産合計	180,020	183,027	+3,007	+1.7%
流動負債	24,897	25,759	+862	+3.5%
固定負債	19,106	19,983	+877	+4.6%
負債合計	44,004	45,742	+1,738	+3.9%
純資産	136,016	137,284	+1,268	+0.9%
負債・純資産合計	180,020	183,027	+3,007	+1.7%

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

7

7 ページに、バランスシートを記載しております。

リカーリングビジネスの拡大のほか、昨年 7 月に子会社化したレンタル卸事業会社のレンタル用資産も加わり、引き続き固定資産が増加しております。純資産は、12 億 6,800 万円増となりました。

サポート

日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



医療施設の投資意欲低迷も業務の効率化・デジタル化関連がけん引
引き続き事業のリカーリング化が進展

常駐サービス契約病院数 ※ストック指標

113 病院 ➤ 124 病院 +10%
2024.3 2025.3

スマートベッドシステム導入病院数 ※ストック指標

46 病院 ➤ 68 病院 +48%
2024.3 2025.3

リカーリング取扱高（医療）

74 億円 ➤ 91 億円 +23%
2024.3 2025.3

WELL-BEING for all beings

9

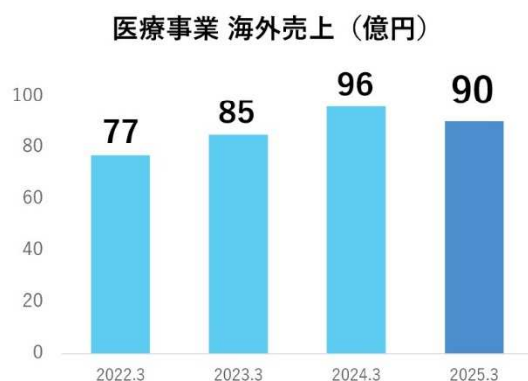
次に、医療、介護、健康の主要3事業の業績について説明させていただきます。

まず、医療事業について、国内と海外に分けてご説明いたします。

国内の医療機関におきましては、常態化する人手不足への対応や光熱費の高騰など、病院経営にとって厳しい環境が続く、設備投資に対する様子見傾向が想定以上に広がっています。当社グループのベッドや備品類の販売は低調に推移した一方で、医療従事者の労働環境の改善に向けた業務効率化やデジタル化、タスクシフトなどの取り組みは引き続き積極的に行われていることから、注力してきたリカーリングビジネスやスマートベッドシステムなどの製品・サービスが引き続き堅調に推移しました。

常駐サービス契約数は11病院、スマートベッドシステム導入数は22病院、それぞれ増加しています。また、リカーリング取扱高は、前期比23%増の91億円となり、国内医療事業全体の売上高は、前期比0.6%増、修正予算比プラス3%の312億円となりました。

インドネシアの民間病院開拓が奏功も中国における反腐敗運動影響が長期化し減収



海外向けベッド販売台数

4.0万台	➤	4.0万台	-0%
2024.3		2025.3	

非連結を含むインド向け売上高

17 億円	➤	19 億円	+11%
2024.3		2025.3	

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

10

海外向けでは、売上高は前期比 7%減の 90 億円となりました。

中国において、前期のゼロコロナ政策明け後にあった重症患者用の病棟整備特需の反動で、特に高機能タイプのベッド販売が減少しました。また、中国では反腐敗運動が進められている影響で、ベッド等の入札が延期されたり、規模が縮小される案件が目立ちました。

一方で、インドネシアにおきましては、官公立病院に加え、民間病院の案件創出に注力してきたことで、ベッド販売台数が増加しました。

なお、もう一つの注力国であるインドでは、非連結を含んだ国内売上高が 11%増の 19 億円と、拡大基調を持続しています。今年の 2 月には、新工場も本格稼働をスタートしていますので、引き続き旺盛な需要に対応し、さらなる拡大を目指してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

眠りSCAN・眠りCONNECTの普及が加速



眠りSCAN 年間販売台数（介護）			
4.3 万台	➤	5.0 万台	+16%
2024.3		2025.3	
眠りSCAN 累計販売台数（介護）			
18.7 万台	➤	23.8 万台	+27%
2024.3		2025.3	
眠りCONNECT 契約施設数 ※ストック指標			
177 施設	➤	621 施設	+251%
2024.3		2025.3	

WELL-BEING for all beings

11

次に、介護事業について、施設向けと在宅向けに分けて、それぞれご説明いたします。

介護施設向けにつきましては、売上高は前期比 6%増、修正予算比プラス 9%の 195 億円となりました。

介護施設におきましても、人費や光熱費等の高騰に伴って、医療施設と同様に、経営環境は厳しい状況が続いている一方で、深刻な人手不足への対応として、見守り支援機器の導入が積極的に推進されており、当社の眠り SCAN や眠り CONNECT の販売も堅調に推移しました。

眠り SCAN の年間販売台数は、前期比 16%増の 5 万台、累計販売台数としては、介護向けで 23 万 8,000 台、病院向けを合わせたトータルでは、25 万 6,000 台となっています。また、眠り SCAN で検知した睡眠情報などをクラウド上で管理できる、新しい見守り支援システムである眠り CONNECT の、3 月末時点における契約施設数は、621 施設へ拡大しています。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

介護事業（在宅向け）

オリジナル商品拡充やPCS東京連結化も寄与



リカーリング取扱高（介護）		
265 億円	➤	291 億円 +10%
2024.3		2025.3

レンタル卸利用者数		
55.3 万人	➤	62.7 万人 +13%
2024.3		2025.3

WELL-BEING for all beings

12

在宅向けは、売上高が前期比 7%増、修正予算比 2%マイナスの 457 億円となりました。

これまで成長を牽引してきた主力ベッド、楽匠プラスシリーズの普及が進んだこともあり、ベッド販売台数は前期並みとなったものの、ベッド以外の福祉用具販売の強化に取り組んだ結果、製品販売は高水準を維持いたしました。

レンタル事業につきましては、昨年 7 月に連結化したパラマウントケアサービス東京も寄与し、リカーリング取扱高は、前期比 10%プラスの 291 億円に拡大しました。また、当社グループからの福祉用具をレンタル利用しているエンドユーザー数は、PCS オリジナル福祉用具のラインナップ拡充策もあり、13%増の 62 万 7,000 人と堅調に伸びています。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

来店客数の伸び悩みが続く



© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

13

健康事業の売上高は、前期比 24%減の 16 億円となりました。

新製品を投入し、プロモーション活動強化にも努めたものの、モノ商品からコト消費へといった消費行動の変化や、物価高に伴う消費マインドの低迷の影響により、来店客数が伸び悩み、大変厳しい結果となりました。

海外地域別売上高

中国におけるゼロコロナ政策明け特需の反動減および反腐敗運動影響が響く

（単位：百万円）	2024.3	2025.3	前期比
アジア	9,271	9,110	-1.7%
インドネシア	2,833	3,223	+13.7%
中国	3,506	2,821	-19.5%
その他アジア	2,931	3,066	+4.6%
アジア以外	1,333	943	-29.3%
海外連結売上高	10,605	10,053	-5.2%
海外売上高比率	10.0%	9.3%	

※ 「インドネシア」「中国」「その他アジア」の数字は「アジア」の内数になります。

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

14

サポート

日本 050-5212-7790
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

14 ページの表は、海外の地域別売上高を記載しております。

連結海外売上高は、前期比 5%減の 100 億円となりました。先ほどもお話したとおり、中国における特需の反動減、および反腐敗運動の影響が響きました。

業績見通し



上期で減収減益を見込むも、通期では増収増益

(単位：百万円)	2025.3 実績 通期	上期	2026.3 見通し 下期	通期	前期比
売上高	108,583	48,200	64,800	113,000	+4.1%
営業利益 (営業利益率)	12,977 (12.0%)	3,400 (7.1%)	10,400 (16.0%)	13,800 (12.2%)	+6.3%
経常利益 (経常利益率)	12,846 (11.8%)	3,600 (7.5%)	10,600 (16.4%)	14,200 (12.6%)	+10.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (純利益率)	9,083 (8.4%)	2,700 (5.6%)	7,300 (11.3%)	10,000 (8.8%)	+10.1%
リカーリング取扱高 ※1	38,480	20,693	21,726	42,419	+10.2%
EBITDA ※2	24,116	9,105	16,844	25,950	+7.6%

※1 リカーリングビジネスで獲得するキャッシュの合計額。※2 営業利益と減価償却費（のれん含む）の合計で算出。

WELL-BEING for all beings

16

それでは次に、今期 2026 年 3 月期の見通しについてご説明いたします。

連結売上高は、前期比 4.1%増の 1,130 億円、営業利益は 6.3%増の 138 億円を見込んでおります。経常利益は、10.5%増の 142 億円。親会社株主に帰属する当期純利益は、10.1%増の 100 億円の計画といたしました。

通期で増収増益を見込んでいますが、上半期では減収、営業減益の計画となっています。当社グループの業績は、季節性として、特に国内の医療施設向けおよび介護施設向けのベッド・備品販売において、納品が年度末に偏る傾向が従来からあります。この傾向は、昨年度も堅調でしたが、今期はさらに下期偏重度合いが高い計画となっています。

この背景としては、まず先ほどもお話しましたとおり、国内の医療施設および介護施設の経営環境が近年になく厳しい状況が続いていることから、設備投資に対してかなり慎重な姿勢となっていること。一方で、課題となっている人手不足への対応として拡大してきているスマートベッドシステムや、眠り SCAN をはじめとした業務効率化に関連する製品やサービスは、施設にとって業務オペレーションの変更を伴うことであり、新年度から開始したいという傾向があることから、その納

サポート

日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



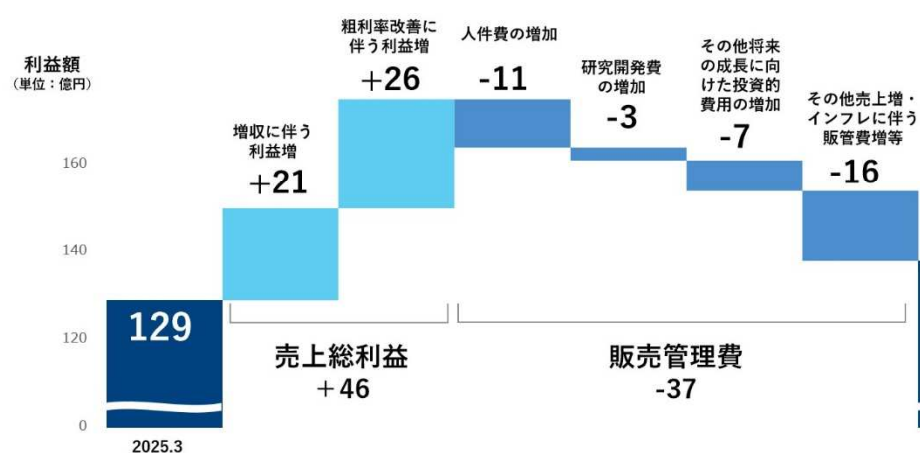
品や導入は、やはり年度末となる案件が多いこと。さらに今年度は、製品戦略として下半期に寄与する新製品計画がいくつかあることも重なって、下期偏重度合いがより高い状況となっています。

なお、経営指標であるリカーリング取扱高につきましては、前期比 10.2%増の 424 億 1,900 万円、EBITDA は、前期比 7.6%プラスの 259 億 5,000 万円を計画しています。

営業利益増減要因

PARAMOUNT BED HOLDINGS

事業成長と粗利率改善による増益へ



© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

17

次に、営業利益の増減要因についてご説明いたします。

売上総利益は、売上増と粗利率の改善により、46 億円増加する計画です。各事業における売上成長に加え、昨年から取り組んでいる各種価格の適正化活動の効果が、通年寄与する見込みです。

販管費につきましては、業容拡大に伴う人件費や研究開発費など、将来成長に向けた投資的費用や、各種インフレに伴う費用の増加などで、合わせて 37 億円増える予定となっています。

営業利益は、前期比で約 8 億円増の 138 億円となる見通しです。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

引き続きリカーリングビジネスの拡大を推進



常駐サービス契約病院数 ※ストック指標

124 病院 ➤ 140 病院 +13%
2025.3 2026.3

スマートベッドシステム導入病院数 ※ストック指標

68 病院 ➤ 113 病院 +66%
2025.3 2026.3

リカーリング取扱高（医療）

91 億円 ➤ 106 億円 +16%
2025.3 2026.3

WELL-BEING for all beings

18

それでは、事業別に説明させていただきます。

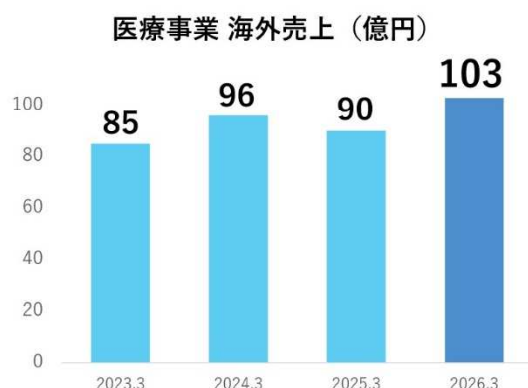
まず、国内の医療事業についてご説明いたします。売上高は、前期比で2%増の319億円を見込んでいます。ベッド販売台数の増加が見込めない一方で、業務の効率化やデジタル化、タスクシフトなど、医療機関の経営改善に資するような提案メニューをさらに充実させる計画です。

常駐サービス契約件数は、前年に比べ16件増加の140病院に拡大するほか、スマートベッドシステムの年間導入数は、前期22病院から倍増の45病院へ導入し、期末の導入病院数は113件へ拡大する予定です。リカーリング取扱高は、前年比16%増の106億円を見込んでいます。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

新規顧客開拓・ラインアップ拡充を推進



海外向けベッド販売台数

4.0万台 2025.3 ➔ 4.8万台 2026.3 +19%

非連結を含むインド向け売上高

19 億円 2025.3 ➔ 23 億円 2026.3 +24%

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

19

海外向けは、前期比 15%増の 103 億円を見込んでいます。

インドネシアでは、昨年に引き続き、民間病院の開拓を含めた案件創出活動を進めるほか、シェアの高さを活かしたクロスセル拡大を目的とした取扱いラインナップの拡充にも注力していきます。

中国では、反腐敗運動が長期化しており、不透明な状況が続いていますが、中国市場のニーズにマッチした新製品が今期に上市見込みとなっています。入札の影響が小さい民間病院向けの営業活動を強化するほか、新築だけでなく、更新案件の掘り起こしも含め、現地の代理店と協力しながら新製品の市場浸透を進め、ベッド販売台数を伸ばす計画です。

なお、注力国であるインドの非連結を含めた売上高は、前年比 24%増の 23 億円の計画です。先ほども触れましたが、今年の 2 月には、インドの新工場が本稼働を開始しています。新工場では、塗装設備を導入するなど、内製化率を高めたほか、生産能力も倍増させております。インド医療市場における旺盛な需要に対応してシェアを拡大させるほか、インド現地法人の早期の連結化を目指してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

介護事業（施設向け）見通し

トイレセンサーに加えておむつセンサーを上市
眠りCONNECTの機能拡充を進め普及促進に注力



眠りSCAN 年間販売台数（介護）

5.0 万台 ➤ 5.5 万台 +9%
2025.3 2026.3

眠りSCAN 累計販売台数（介護）

23.8 万台 ➤ 29.2 万台 +23%
2025.3 2026.3

眠りCONNECT契約施設数 ※ストック指標

621 施設 ➤ 1,321 施設 +113%
2025.3 2026.3

介護事業の施設向けにつきましては、前期比2%増の199億円を見込んでいます。

国内の介護施設経営は、病院同様、人手不足と光熱費高騰などに伴い、厳しい経営環境が続いています。不要不急の設備投資が抑制傾向にある一方で、介護スタッフの負担軽減や業務効率化に資する体動センサーの眠りSCAN、見守り支援システムの眠りCONNECT、離床センサー付きベッドなどは、昨年同様に強い引き合いが続くと見ております。

トピックス（新製品）

中国市場向け新ベッド 「A3typeEシリーズ」

※写真はラインアップの一部です。



基本性能



おむつ用排泄センサー 「おむつCOLOR」



価格：オープン
機能：おむつ用排便検知
操作：専用アプリ
連携：眠りCONNECT

眠りCONNECTの機能強化・
介護DXプラットフォーム化
を推進



サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

今月には、おむつ用の排便検知センサー、おむつ COLOR を新たに発売いたしました。おむつ内の色の変化をセンシングすることで排便を検知し、適切なタイミングでスタッフに通知することができるようになります。

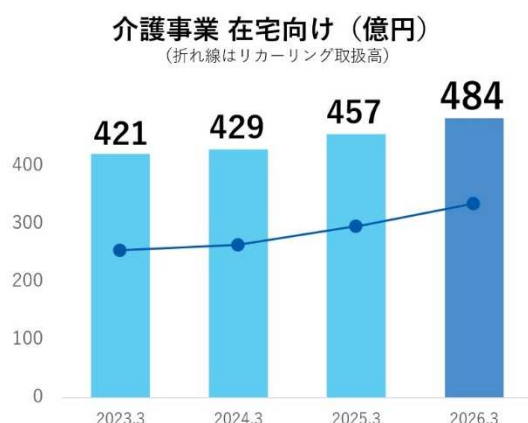
介護施設における排泄ケアは、介護スタッフにとって、精神的にも身体的にも大変な負担となっています。当社では、昨年買収したトイレセンサー事業と、今回の汚物センサーによって、介護負担の大幅な軽減に貢献できるものと考えております。もちろん、このおむつセンサーは、独自アプリだけでなく、眠り CONNECT での管理も可能です。これからも、眠り CONNECT の機能強化と利便性向上に努め、介護 DX のプラットフォーム化を進めていく計画です。

今期の眠り SCAN 販売目標は、前期比 9% 増の 5 万 5,000 台、眠り CONNECT の今期末の契約施設数は、倍増の 1,321 施設を目指してまいります。

介護事業（在宅向け）

PARAMOUNT BED HOLDINGS

ラインアップの見直し・強化を促進 着実なシェア拡大を図る



リカーリング取扱高（介護）		
291 億円	➤	314 億円 +8%
2025.3		2026.3

レンタル卸利用者数		
62.7 万人	➤	66.0 万人 +5%
2025.3		2026.3

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

21

在宅向けは、前期比 6% 増の 484 億円の計画です。

リカーリングビジネスであるレンタル卸事業のパラマウントケアサービスにおいて、引き続きオリジナル商品ラインナップの拡充に注力しながら、事業拡大を続けてまいります。

昨年 7 月に連結化いたしましたパラマウントケアサービス東京も通年寄与し、リカーリング取扱高は 1% 増の 314 億円、レンタル卸利用者数は 5% 増の 66 万人をそれぞれ見込んでいます。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

各種施策の見直しを図り再成長軌道へ



健康事業は、前期比プラス 37%の 23 億円を目指します。

インフレ基調に伴う購買意欲の低迷など、環境としては厳しい状況が続いている中で、最終的な購買行動にいかにつなげるか、という観点ではまだ課題が多い状況ですが、認知向上やタッチポイントの増加を狙ってさまざまな取り組みを行い、トライアンドエラーを繰り返している最中です。

先月には、JR 大阪駅直結の商業施設 KITTE 大阪へ直営店である、眠りギャラリーを出店しました。当社直営店の商業施設への出店は初めてになります。関西地区で最大規模の再開発が進み、注目度が高まっているうめきた地区における、利便性の高い商業施設に出店することで、より体験してもらいやすい環境を整えました。

この健康事業を、将来的には医療、介護に次ぐ第 3 の柱と呼べるような事業規模にすることが、当社グループの大テーマの一つであることは変わっていません。医療、介護分野で培った知見という当社グループの強みや独自性を、睡眠を軸とした健康分野という、より裾野が広く、制度の制約がないマーケットで展開し拡大していくこと。そして BtoC の領域で一定の足場を作っておくことが、将来的な在宅医療分野の拡大など、医療、介護、健康分野をまたがって事業を展開する当社グループのさらなる発展に向けて、大変重要な武器になりうると考えています。

まずは足元の戦略の再構築を進め、健康事業の中長期的な再成長に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

海外地域別売上高

注力エリアにおける新規顧客開拓とラインアップ拡充を促進

(単位：百万円)	2025.3	2026.3	前期比
アジア	9,110	10,507	+15.3%
インドネシア	3,223	3,948	+22.9%
中国	2,821	3,471	+23.1%
その他アジア	3,066	3,087	+0.7%
アジア以外	943	1,008	+6.9%
海外連結売上高	10,053	11,515	+14.5%
海外売上高比率	9.3%	10.2%	

※「インドネシア」「中国」「その他アジア」の数字は「アジア」の内数になります。

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

23

海外の地域別売上高は、ご覧のとおりです。

事業環境としては不透明な地域もありますが、注力エリアであるインドネシア、中国、インドを中心に、シェア拡大に向けて取り組んでまいります。連結海外売上高は、前期比 15%増の 115 億円を目指します。

設備投資等

設備投資はIT関連機器投資が増加

	(単位：百万円)			
	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3
設備投資	3,653	3,643	3,736	4,750
減価償却	8,482	9,765	11,099	11,999
研究開発	1,753	1,868	2,173	2,453
従業員数 (単位：人)	3,946	4,126	4,360	-

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

24

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

次に、設備投資等の指標をまとめています。

今期の設備投資は、新製品金型に加えて、IT 関連機器の更新などが重なっておりまして、通常より多めの予算となっています。減価償却費につきましては、医療事業や介護事業のリカーリングビジネスで使用している資産の償却が多くを占めていまして、引き続き拡大させていく計画です。研究開発費につきましても、事業のデジタル化、リカーリング化に伴う新たな開発分野を増やしていきます。

企業理念・ビジョン・中計の位置付け（変更なし）

PARAMOUNT BED HOLDINGS

企業理念

先進の技術と優しさで、快適なヘルスケア環境を創造します

ビジョン

パラマウントビジョン2030

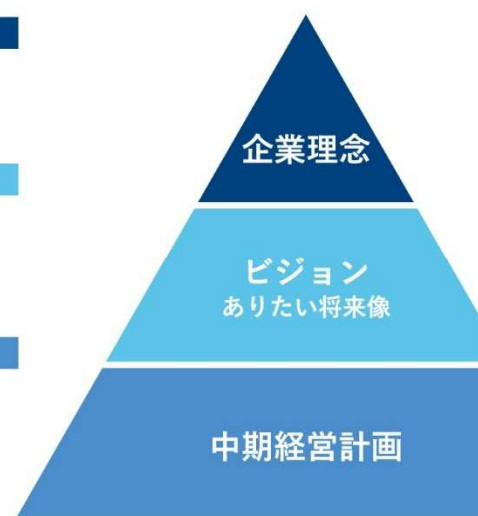
「医療」「介護」から「健康」まで、すべての人に笑顔を

中期経営計画

第Ⅰフェーズ (2020.4～2024.3)

第Ⅱフェーズ (2024.4～2027.3)

第Ⅲフェーズ (2027.4～2030.3)



WELL-BEING for all beings

26

それでは次に、先週の決算と同時に発表いたしました、中期経営計画のアップデートの内容についてご説明いたします。

中計の位置付けは、ご覧のとおり、変更はありません。現行の第Ⅱフェーズは、来年度 2027 年 3 月期が最終年度となります。

サポート

日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

第IIフェーズの重点施策（変更なし）

PARAMOUNT BED HOLDINGS



WELL-BEING for all beings

27

重点施策につきましても、記載のとおり変更はございません。

将来的な企業価値向上を目指して、リカーリングビジネスの拡大、健康事業の進化、アジア注力エリアでの飛躍への取組みを進めてまいります。

経営指標（変更あり）

PARAMOUNT BED HOLDINGS

（単位：億円）	2025.3実績	2026.3予算	2027.3新目標	2025.3比
売上高	1,085	1,130 >	1,200	+ 11 %
リカーリング 取扱高 ※1	384	424 >	470	+ 22 %
営業利益	129	138 >	150	+ 16 %
EBITDA ※2	241	259 >	284	+ 18 %

※1 リカーリングビジネスで獲得するキャッシュの合計額。

※2 営業利益と減価償却費の合計で算出。業態の変化を踏まえ、さらなる成長投資促進のための指標。

WELL-BEING for all beings

28

一方で、数値目標につきましても、昨今の事業環境の変化や進捗を踏まえて変更いたしました。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

経営指標として掲げている四つの項目について、それぞれご説明いたします。

まず、売上高につきましては、1,200 億円の目標を据え置きました。事業ごとの内訳は、後ほどご説明しますとおり、変更しておりますが、トータルでは変更していません。

次に、リカーリング取扱高につきましては、計画を上回って進捗していることを踏まえて、従来目標を 20 億円増額し、470 億円としました。

一方で、営業利益につきましては、従来目標から 20 億円減額の 150 億円、EBITDA は 6 億円減額の 284 億円と、それぞれ引き下げました。

今回の見直しの背景としましては、為替水準の変化や資材価格の高騰などによる原価および各種費用が上昇したこと、国内主要顧客の厳しい経営環境による設備投資・購買意欲の低迷に伴い、従来型の売切ビジネスが想定以上に厳しい見通しとなっていること、一方で、業務負担軽減・効率化に資する製品・サービスの拡大が計画以上に進捗していることなどにあります。

ストックビジネスであるリカーリングの割合が増えることは、今期、来期という短期目線では、売切型よりも収益貢献が少なくなります。しかしながら、第Ⅲフェーズまで目線を広げると確実な業績拡大につながりますので、環境変化に対応しながら、事業のリカーリング化への変革を進め、中長期目線での企業価値向上に取り組んでいく所存です。

事業別の売上目標（変更あり）

PARAMOUNT BED HOLDINGS

（単位：億円）	2025.3実績	2026.3予算	2027.3新目標	2025.3比
医療事業	402	422 ➤	446	+11 %
介護事業	652	684 ➤	724	+11 %
施設向け	195	199 ➤	210	+8 %
在宅向け	457	484 ➤	514	+12 %
健康事業	16	23 ➤	30	+78 %

※「介護事業」の「施設向け」「在宅向け」の数字は内数になります。

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

29

主要 3 事業の売上目標としましては、ご覧のとおりです。

サポート

日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

各事業とも、現在の事業環境と施策の進捗度合いを踏まえた目標値に置き直しました。

海外注力エリアの売上目標（変更あり）

PARAMOUNT BED HOLDINGS

（単位：億円）	2025.3実績	2026.3予算	2027.3新目標	2025.3比
インドネシア	32	39 ➤	40	+ 24 %
中国	28	34 ➤	35	+ 24 %
インド ※	19	23 ➤	25	+ 31 %
※非連結の現地法人を含むインド国内向けの売上額を記載。連結売上高とは異なります。				
連結海外売上高	100	115 ➤	140	+ 39 %

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

30

次のページでは、海外の地域別目標をまとめています。

なお、当社グループの海外事業におきましては、現状では、アメリカの関税政策の影響は軽微と捉えています。

一方で注力エリアでは、保護貿易政策の推進や、一度決まった政策や予算が大幅に変更されるケースが見受けられるなど、事業見通しの不透明感が高い状況が続いていることを踏まえ、目標値の見直しを実施しています。

連結の海外売上高の目標としましては、140 億円といたしました。

サポート

日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

株主還元（変更あり）

PARAMOUNT BED HOLDINGS

新配当方針

2026年3月期から **DOE5.0%** 目安へ変更

共に成長を実感いただける還元政策を推進。



次に、株主還元についてご説明いたします。

基本的な考え方自体は変わっていません。医療や介護分野を継続的にサポートする企業として、将来の不測の事態に備えた強固な財務体質を維持するとともに、事業投資を積極的に行いながら、株主の皆様へ成長とともに実感いただける還元政策のもと、配当金額を決定してまいります。

昨年、配当水準として、DOE2.7%から4%へと引き上げたところですが、資本コストや株価を意識した経営のさらなる推進と、株主の皆様への利益還元の拡充を目的として、水準を一段引き上げ、DOE5%目安へと変更することといたしました。これにより、今期の年間配当金は、前年に比べて1株あたり28円増配の、125円となる見込みです。

また、株価や市場環境の変化を総合的に勘案しながら、必要に応じて機動的な追加還元を随時検討してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
 Asia's Meetings, Globally

キャッシュアロケーション（変更あり）

第Ⅱフェーズ期間累計

キャッシュイン	キャッシュアウト
EBITDA 785億	株主還元 220億～
	法人税 135億
手元資金充当 100億～	成長投資 530億～

株主還元

配当は純資産配当率(DOE)5.0%を目安
市場環境等を勘案した機動的な追加還元を検討

成長投資

顧客との継続的な関係を強化するリカーリング資産
生産設備や福祉用具メンテナンス設備増強／新基幹
システム導入促進
事業発展に向けたCVC投資などを含めた他社連携を
積極的に展開

<手元資金水準の考え方>

月商約3か月分の運転資金

- + 災害等発生時においても医療・介護に貢献する
製品やサービスを継続的に提供できる体制の維持

次のスライドでは、第Ⅱフェーズ3年間のキャッシュアロケーションプランのアップデートについて記載しました。

先ほどご説明しました配当水準の引き上げや EBITDA の見直し、昨年実施した自己株式の取得などを反映しております。

一方、将来に向けた成長投資は、引き続き積極的に進めていく考えに変更はなく、結果として、キャッシュアウトの超過分に充てる手元資金充当額が増加する計画となっています。

サポート

日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

株式会社カルディオの過半の株式を取得し 子会社化を決定、医療事業の領域拡大へ



会社概要

- ・ 商号：株式会社カルディオ（Cardio Incorporated）
- ・ 設立：2001年
- ・ 事業：心臓疾患治療用を中心とした最先端技術および
デバイスの開発・輸入販売・臨床サポート等
- ・ 取扱：小児用体外設置式補助人工心臓システム
「EXCOR® Pediatric」（独ベルリンハート社製）

医療事業の領域拡大イメージ



© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

34

最後に、トピックスとしまして、本日リリースいたしました M&A 案件についてご説明いたします。

当社グループの中核会社であるパラマウントベッド株式会社は、このたび、最先端の医療・ヘルスケア機器の開発・輸入販売と臨床サポート事業を営む株式会社カルディオの株式を取得し、子会社化することを決定いたしました。

カルディオ社は、難治性疾患患者の治療や QOL 改善による社会貢献を基本理念として、2001 年に設立され、現在では、主に世界で唯一の小児用補助人工心臓システムに関する事業を日本で行うニッチトップ企業となっています。

補助人工心臓は、その製品特性上、機能と安全性を担保するための定期的な保守点検が求められており、カルディオ社には、多種多様な機能や構成品の点検を行うことができる専用の保守設備と高い整備技術が備わっています。高度医療機器の保守・メンテナンスを安定的に担ってきたカルディオ社の知見は、現在当社が注力している常駐サービスなどのリカーリングビジネスの拡大にも寄与するものと期待しています。

また、小児心臓移植医療の発展を支援することができる社会貢献性の高い事業であり、「WELL-BEING for all beings」という当社のブランドメッセージにも深く共鳴するものと考えています。

この M&A を通じて、昨年買収した、心不全の重症化を早期に把握するプログラム医療機器の実用化を目指すハートラボ社と合わせて、当社グループの医療事業の領域拡大に努めてまいります。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

以上、私からのご説明を終了させていただきます。

ありがとうございました。

サポート

日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com